

成果報告書

地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	あだちっこくらぶ デジタルミュージック部		
所在地	東京都足立区	設立年	2021年
運営主体	みらい創造堂 代表企業 ヤオキン商事株式会社		
事業目標	ギャラクシティを拠点に子どもたちが文化芸術活動に触れる機会を提供することで、自己肯定感を育む新たな受け皿を創設する。		
きっかけ	足立区文化芸術推進計画の施策に「子どもの成長に応じた文化芸術事業を提供する」があり、小学校のクラブ活動とは異なる文化芸術活動に触れる機会の提供を必要としたため。		
団体・組織等の連携			
活動場所	ギャラクシティ		
活動概要	足立区の子どもたちの文化芸術活動の機会提供を目的として、学校のクラブ活動とは異なる小学生対象のクラブ活動をギャラクシティが企画・運営している。		

○本事業による成果

講座内で使用している音楽制作ソフトウェア「ガレージバンド」への理解が深まり、論理的且つプログラミング的思考で作品制作にあたる生徒が増えた。
音楽に対する意識も初期は消極的な意見が多かったが、講座が進むにつれ大きく変化し、一層積極的に独自にアレンジし作品を制作するようになった。

○児童・生徒への指導に関する工夫

「ガレージバンド」での作曲にあたり、アプリケーション内で使用している楽器(ドラムやギター、ピアノなど)を画面上だけでなく、実物の楽器も活用し、実際に演奏することでより理解を深めることができる環境を用意した。その時々の子の理解度や作品制作状況に合わせて講座の内容を変更・調整し、より円滑に講座の進行を行った。
講座進行・作品制作をする上でのマニュアルや持ち帰り用の資料を用意し講座時間外でも学習ができるよう着手した。

○運営上の工夫

前回、平日の参加が厳しいといった意見が上がった為、デジタルミュージック部を水曜日コースの他に土曜日コースを新たに新設した。
対象年齢も新たに中学生枠を設け、幅広い層での開催を実現した。
講師だけでなくギャラクシティのスタッフも常駐し、生徒たちのサポートにあたった。
また、定期的に各自の作品の発表の場を設け、講師だけでなく他の参加者や運営スタッフ・保護者などの第三者に評価してもらうことにより、他者に聞いてもらう点を意識して作品作りに専念できる環境を重視した。

○継続的な運営に関する課題・展望

年間を通しての長期的講座の為活動への参加意欲を維持することが難しい。
事業内容は充実しているが参加者によっては合う合わないがあり途中で辞めてしまうケースもある。
また連続講座であるため途中からの参加も厳しく結果的に全体の参加率への影響も出ている。
来年度も開催する場合は短期集中型の講座にするなどの開催形態の再検討が必要。

現状、講座内容の検討や、機材・楽器の調達、素材の準備など、講座時間外に行う業務が多々あり、職員は本講座に多くの時間を費やすため、人件費がかかっている。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

定期的で開催し、都度参加者を募集することにより、多くの子どもたちに文化芸術活動に触れる機会を提供することができるような講座のパッケージ化等の対応を検討。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	水曜日コース 9名 土曜日コース 10名
	学校名	舎人小学校、鹿浜小学校等
	募集方法	事前申込制 チラシ配布、ギャラクシティホームページでの告知
指導者	人数等	1名 両コース兼任
	募集方法	-
参加者の移動手段		徒歩、保護者による送迎、自転車、電車等
活動費用	指導者謝金等	講師謝礼：12,000-15,000円／回
	その他	感染対策消耗品費
活動財源	会費	-
	その他	-
スケジュール	基本活動	実施：隔週水曜日・土曜日 2コース 各：月2回
	年間	各コース年間開催 18回 計36回
保険加入等		あり(運営主体で加入している傷害保険で対応)

【活動の様子（写真添付）】

